

Part of **Clarivate** 

# 図書館の レベルアップ を図る

適切なツールの利用は、急速に変化する環境において図書館を成功に導くことができます。

Clarivate, Ex Libris そしてProQuestが お手伝いします。 世界中の学術図書館は劇的な変化を遂げています。 単に本や資料を借りるだけの場所でなく、教育、学習、 研究、および学生の成功をサポートするための最新 の拠点になりつつあります。

図書館がこのような新しい役割を果たすためには、様々な利用者のニーズに限られた予算内で対応しなければなりません。図書館は予算を効果的に活用するためにコレクション構築を選択する必要があります。

問題は図書館が費用対効果の高い方法で、ユーザーが必要とする適切なコンテンツを提供し、同時にユーザーがこれらのコンテンツを簡単に見つけてアクセスできるようにするにはどうすればよいかということです。

ここ数年、Clarivate傘下のEx LibrisとProQuestは、 図書館が統一された方法でこれらの課題に対応でき るよう、統合されたクラウドベースのソリューショ ンスイートを開発してきました。

このホワイトペーパーでは、図書館が直面している変革について詳しく説明します。図書館が目指す新しいモデルである「**適応型図書館―アダプティブライブラリ**」について説明しており、図書館が多様化する変化にサポートできるよう、効果的な設定をすることを説明しています。

そしてProQuestとEx Librisの一連のソリューションスイートがどのように役立つかを説明しています。

### 急速な変革の時代

21世紀の学術図書館は、単に書籍や雑誌記事を見つけるための場所ではありません。世界中で、図書館は教育、学習、学術の新時代に向けて自己改革をすすめています。

例えば、図書館は学生が共同で学習するための共同作業室を用意しています。また、図書館は研究室やメーカースペース、コーヒーショップなど学生や教職員が集まって話したり、本を読んだり、勉強したりするための場所を用意しています。場所だけでなく、ノートパソコンやタブレット端末、 無線LAN スポット、 拡張現実や仮想現実 デバイス等、研究や学習をサポートする新しいテクノロジーも追加しています。

# 本のある場所から、様々な用途の場所へ



学生が学ぶ共同作業室



研究室



コーヒー コーナー



たまり場



ラップトップ、 タブレット端末等の利用





さらに、図書館員は新しい役割と責任を担っています**。** 教員がコース教材を計画し、それを学生がより多く利用できるように 支援します。また、研究者の研究成果を紹介する場を提供することもあります。

また、印刷物コレクションをデジタル化することで、研究者や学生がどこからでも瞬時に情報を入手できる様にするなど従来の役割を新しい方法で果たしています。

ここでは変化をもたらす主なトレンドを紹介します。

### 利用者の高まる期待

Amazonのような消費者向けのサイトが登場し、高速でパーソナライズされたデジタルサービスを提供するようになったことで、今日の顧客はますます多くのことを期待するようになりました。このような状況下で、図書館は同様の高度なサービスを提供することが求められてきています。

Salesforce社の調査によると、 66%の顧客が取引先の企業が独自のニーズを理解することを期待しています。顧客の 4 人に 3 人近くが取引の開始・完了するために複数のチャネルを使用した経験があり、88% はパンデミックの結果として組織がデジタルサービスを強化することを期待しています。

ユーザーはモバイルデバイスや学習管理システムなど、使用している 環境が何であれ、必要なものをすばやく簡単 に 見つけられることを望んでいます。また、利用者は自分の好きなフォーマットでサービスを受けたいと考えています。 図書館が運営するプラットフォームは、こうした機能や要望をサポートするものでなければなりません。

### デジタルサービスへの移行

図書館はパンデミック以前から、コレクションを印刷物からデジタルフォーマットへと移行していました: 2014年度から2018年度にかけて、米国の図書館の物理的資料に対する1人当たりの平均支出は6%減少し、電子的資料に対する1人当たりの平均支出は31%増加しました。

COVID-19の出現はこの傾向を大きく加速させ、同時に、印刷物からデジタル資料への移行における価値を実証し、印刷物からデジタル資料への移行の価値を示しています。パンデミックの最中、早い段階で施設が閉鎖される中、デジタルコンテンツに大きな投資をしていた図書館は、最小限の中断でサービスの提供を継続することができました。



### アクセシブルなコース教材の必要性

大学生にとって、"手頃な価格"は依然として大きな問題です。Ex Librisが2020年に米国の教員と学生を対象に行った調査によると、36%の学生が教材費の高騰を理由にコース登録を断念し、56%の学生が教材費の高コストは自らの成功に悪影響を与えたと回答しました。

図書館員は、教員が授業で使用するリソースのキュレーションや学生が簡単にアクセスできるように教材のデジタル化を支援することで、学生の成功への取り組みにおいて重要な役割を果たしています。 また図書館員は教員と協力して、著作権で保護された教材の印刷物やデジタルコピーを確保し、学生がこれらのリソースを購入できない場合でも購入の必要がないようにしています。

### 「適応型図書館―アダプティブライブラリ」の出現

こうした新しい役割と責任を担う今日の図書館員は、**学生、教職員、**管理者、研究者、研究室の職員など、幅広いステークホルダーのニーズに応える必要があります。

パンデミックが証明したように、状況の変化に応じて迅速に方向転換できることには多くの価値があります。 最も成功している図書館は、急速に変化する環境に即座に適応することができる図書館です。 適応型図書館は、デジタルトランスフォーメーションをサポートし、すべてのステークホルダーのニーズにより効果的に対応できます。

適応力を高めるために、図書館には、高い俊敏性を持ち、複雑なプロセスを簡単に管理できるツールやプラットフォームが必要です。 例えば、電子コンテンツを取得するための複雑なライセンス(および巧妙な経済性) をナビゲートするために、図書館は様々な出版社や電子書籍のライセンス契約や貸出ポリシーを管理する簡単な方法を必要としています。また、印刷物コレクションをデジタル化する場合、管理されたデジタル貸付(CDL)の ベストプラクティスに従って デジタルファイルの貸出を制限し、著作権の制限に抵触しないようにする方法が必要になります。

同時に、予算の圧力により、図書館はより効率的になることを余儀なくされています。 図書館員はより少ないリソースでより多くのことを行うことがますます求められているため、自動化はこの目標を達成する上で重要な役割を果たすことができます。自動化や人工知能を使用してワークフローを合理化することは、単なるコスト削減策ではなく、図書館員が利用者とのやり取りや関係者に真の価値を示す他のサービスの提供により多くの時間を費やせるようにするものでもあります。高機能なプラットフォームは図書館員がより戦略的に時間を集中できるように、日常的なタスクを処理することができます。

適切なテクノロジーは、図書館員が限られたリソースをどこに費やすかについてより良い判断を下し、投資から最大の効果を得られるようにすることもできます。例えば、少数の利用者しか利用見込みがない書籍やデジタル教材を購入するのではなく、リソース共有ネットワークを介して他の図書館と提携する方がより有意義ではないでしょうか。

分析機能が組み込まれたプラットフォームを使用することで、図書館員は購入の評価やサービスの効果を評価する際に、より賢い意思決定を行うことができ、図書館員がサービスやリソースを可能な限り効率的に利用者に提供するのに役立ちます。



### Ex LibrisとProQuestがどのように役立つか

Ex LibrisとProQuestは、現代の図書館員が直面する課題に対応し、あらゆる状況に容易に適応できるように、完全に統合されたソリューションスイートを開発しました。

例えば、Almaは、図書館員が単一のインターフェイスで印刷物、電子資料、デジタル資料を管理するのに役立つオールインワンプラットフォームです。 Rialtoは、さまざまな出版社から学術コンテンツを購入するためのベンダーニュートラルなプラットフォームで、図書館員が最適なコンテンツ選択と取得の方法について賢明な判断を下すための知見と分析を備えています。

Rapidoは、図書館間のリソース共有の管理を支援します。 PrimoとSummonは、ユーザーがコンテンツを見つけて学生の成功を促進するためのディスカバリーサービスです。

Esploroは研究ライフサイクル全体の管理を支援し、Legantoは教員と図書館員が協力してコースのリソースリストを作成および管理することで、教育と学習をサポートします。

これらのソリューションは、すべてのステークホルダーが図書館と関わる方法を改善し、ワークフローを合理化し、図書館員が機関により多くの価値を提供するのに役立つ強力な知見を提供することができます。

これらのシステムはすべてオープンスタンダードに基づいており、他のソフトウェアとシームレスに統合することができます。これらのソフトウェアは単体でも使用することは可能ですが、統合して利用することで学術機関に大きな価値をもたらします。これらのソリューションはすべて同じ高等教育機関向けのクラウドプラットフォーム上で動作するため、同じデータ構造をしています。つまり、Ex Librisの既存顧客にとって、これらの製品を追加することは非常にシンプルなのです。



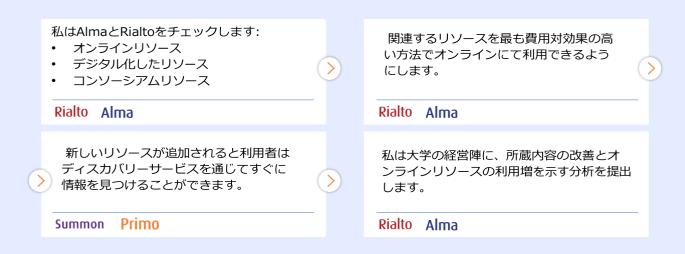
さまざまな役割とシナリオを検討することで、 これらのソリューションが図書館の業務フローと どのように連携して合理化するかを調べることが できます。





## 図書館長の場合

Covid-19 の影響で、適切なコンテンツがリモートアクセスで利用できることを確認する必要があります

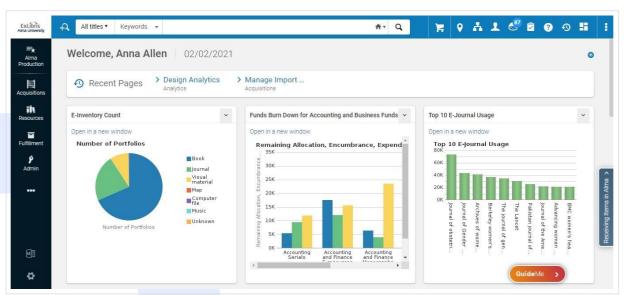


#### 図書館長

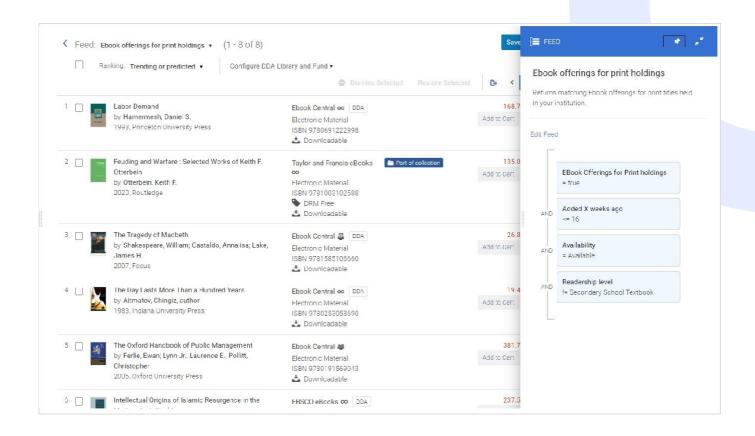
図書館長を想定してみましょう。彼は図書館の経費の使い方を最適化し、利用者が必要なコンテンツにオンラインで簡単にアクセスできるようにして、リモートでの授業や学習をサポートする必要があります。 これは簡単なようで、実は非常に難しいミッションなのです。

まず、図書館の本棚にあるもの、購読しているコンテンツ、パートナーシップやコンソーシアムを通じてアクセスできるリソースを理解することから始まります。この仮想の図書館長は、AlmaとRialtoでこれらすべての情報に簡単にアクセスできます。

## Almaの ダッシュボード







この見識により、学生はどのアイテムがデジタル形式で利用できていないかを確認し、これらの資料を学生がオンラインで利用できるようにするための最も費用対効果の高い方法を決定できます。例えば、オンラインのサブスクリプションの購入コストやデジタル化に関するコストを比較できます。

新しい資料が追加されると、ユーザーはPrimoやSummonのディスカバリーツールを介して数分で必要な情報を見つけることができます。

さらに、Alma内の分析機能により、各資料がどれだけ使用されているか把握できるため、この図書館長は館内のリソースが効果的に活用されていることを確認できます。 もし一部の資料がそれほど頻繁に使用されていないのであれば、その資料の購入を停止することは理にかなっているか?コンソーシアムや図書館間相互貸出システムを通じて、利用者に特定のリソースを要求させる方が賢明でしょう。

図書館長は、最近追加された資産、これらの資料の使用頻度、使用ごとにかかる費用を確認できます。 これらの情報は使いやすいビジュアル形式で利用でき、大学の幹部と共有できるため、図書館は提供している価値を証明することができます。





# 2年生のスーザンの場合

彼女は研究課題を開始しており、関連資料を探 しています

コースのリーディングリス トに推奨記事があるのを見 て、良い出発点になると考 えています。



インストラクターが推薦し た記事を検索し、簡単に見 つけます。

彼女は、それがオンライン で利用可能であることを確認 しています。クリックすると すぐにアクセスできます。

Summon Primo

Alma

その他の推奨資料を見ることができます。 この記事で引用された以前の論文とその論文 を引用した後の論文が表示されます。それら の論文には関連する記載もあります。



スーザンは驚きを隠せません! 彼女は今日、関 連する論文を1つ探そうと思っていましたが、こ の1日ですでに12の関連論文の全文を見つける ことができたのです。

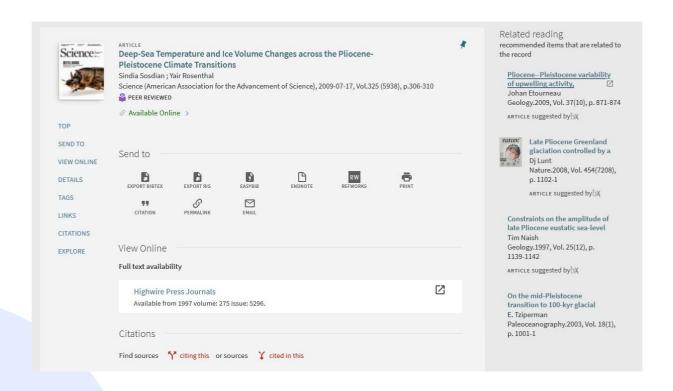
Summon Primo

Summon Primo

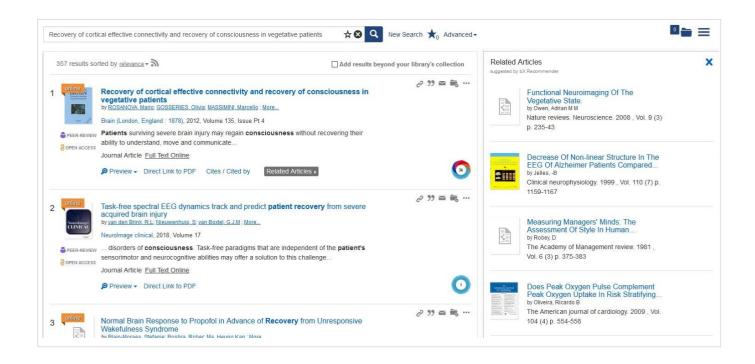
### 研究をしている学生

課題の一環としてリサーチをしている学生を想定してみましょう。

まず、コースのリーディングリストで推奨されていた論文を読みます。この論文を検索すると、PrimoやSummon のディスカバリーサービスで簡単に見つけることができます。 その論文がオンラインで入手できることを確認し、タ イトルをクリックすると、すぐに全文のPDFがAlmaに表示され、後で使用するために保存することができます。







PrimoやSummonのそのアイテムのレコードには、この学生にとって他の推奨資料もあることがわかります。例えば、最初に読んだ論文内で引用された論文など、関連する項目を見ることができます。 通常、学生はこの情報を見つけるためには記事の書誌情報にアクセスをして参考文献リストにアクセスする必要があります。

また、自分が最初に読んだ論文を引用した論文へのリンクを見ることができます。 これらの推奨論文のいずれかをクリックして、自分の研究に関連する論文に簡単にアクセスできます。 これらの推奨論文は、独自の推奨機能によって選定されます。

数分のうちに、この学生は研究の指針となる複数の論文を手に入れることができました。**最初の1件の**レコードから、彼女はより多くの関連資料を自分一人で見つけるよりもはるかに速く、簡単かつ関連性の高い資料を発見しました。

これは、消費者がウェブ検索やeコマースサイトを使用する際に検索に関連すると他の提案を提示されるのと同じロジックです。

これはEx Librisディスカバリーツールが、ユーザーの検索に関連する追加の資料を見つけるのをサポートし、ユーザーの活動を楽にし、よりタイムリーに研究を完了できるようにする方法のほんの一例に過ぎません。





# ハミルトン教授の場合

ハミルトン教授は、学生がすべてのコースリソース にアクセスできるようにする必要があります

生徒が自由に利用できる図 書館の蔵書を探します。

Summon Primo

自動生成される購入リクエ ストは教員が図書館にない リソースを使用しているこ とを通知するものです。 Alma 図書館で探したリソースを Legantoに追加し、整理して 学生向けのメモを追加できま す。

Leganto

図書館では電子書籍をRialtoで検索。関連するコースの詳細が目立つように表示され、図書館が最適な購入モデルを選択するのに役立ちます。

Rialto

ある本は図書館では借りられ ませんが、CiteItを使えば簡 単にリストに加えることがで きます。

Leganto

電子書籍へのリンクはLegantoの文献リストに自動的に追加されるので、学生は簡単にアクセスすることができます。

Leganto

### 教材選びをしている教員

学生が教材にアクセスできるようにしたいと考える仮想の教員の経験を見てみましょう。まず、学生が利用できる資料を図書館の蔵書から探します。この検索はPrimoやSummonで行うことができます。教材リストを管理するためのプラットフォームであるLeganto内でもこれを行うことができます。

学生に割り当てたい関連教材を見つけたら、コースの資料リストに追加します。 特定の教材に必読のフラグを立てたり、必要に応じて生徒のためにメモを追加したりできます。資料リストを作成しているうちに、使用したい1冊の本が図書館のコレクションから入手できないことが判明しました。

しかし、この本を教材リストに追加することは可能です。LegantoのCiteIt ツールを使用して、この書籍に関する情報をすばやく取得し、ワンクリックでリソースとして追加することができます。 このときシステムは自動的に図書館にも通知します。図書館は、教員がまだ所有していない資料を教材リストに追加するたびに、購入リクエストが生成するようにLegantoを設定することができます。

CiteIt を 使用し Leganto に教材を 簡単に 加



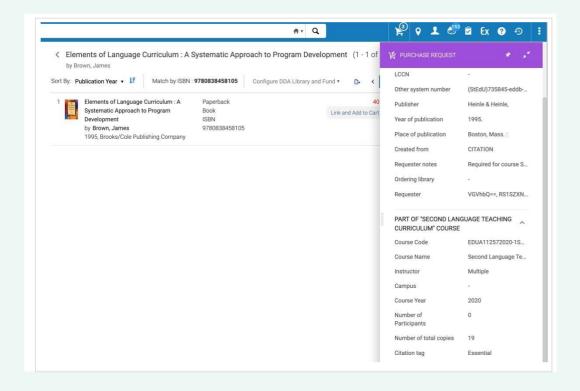


図書館がRialto(図書館員にリソースの利用可能なすべてのバージョンを表示して購入モデルを決定するのにも役立つ選択プラットフォーム)も使用している場合、購入リクエストはRialtoと自動的に統合されます。 図書館員は、コースの受講者数や、リソースが必読書として夕グ付けされているかなどの詳細を確認できるため、コースに必要なものに合わせて最適なモデルで書籍を購入します。新しい資料を購入すると、Legantoの引用に自動的にリンクされるので、学生はすぐに資料にアクセスすることができます。

#### Rialto

Rialto内の コース情報→

スマートかつ 効果的な購入 決定が可能







# 美術史専攻の学部生、 アマンダの場合

アマンダは彫刻家ルイーズ・ネヴェル ソンの研究を行っています

彼女は論文の資料となるいくつかの記事や本を見つけました。



そのうちの数冊は、 図書館の蔵書にあるも ので、Almaを通じて 予約をします。



論文のキーとなりそうな本が1冊図書館に蔵書されていないので、Primoの検索対象を他の図書館の資料にも広げます。(Rapido経由)



Primo

Alma

Primo Rapido



Rapidoからアマンダに、リクエストすれば 5日後に届くこと、本の章をリクエストすれば、24時間以内に届くことが通知されます。



論文の締め切りは週末なので、章のリクエストを行います。翌日には章のPDFを受け取り、論文の完成に間に合わせます。

Rapido

Rapido

### 所属図書館に所蔵されていない資料に迅速なアクセスを必要とする研究者

ここでPrimoとAlma、そしてEx Librisの新しい研究共有プラットフォームであるRapidoとの連携について見てみましょう。

美術史を専攻している学部生のアマンダの例を考えてみましょう。アマンダは彫刻家ルイーズ・ネヴェルソンの研究をしています。アマンダはPrimoを使い、論文のための資料をいくつか探しました。その中には図書館に所蔵されているものもあり、Almaを経由して図書館から取り寄せることができます。

しかし、論文に必要な1冊の本が所属する図書館にはありませんでした。そこでPrimoでは他の図書館で所蔵している資料にまで検索範囲を広げます。この検索はRapidoを通して行われ、Rapidoはアマンダに「リクエストをすれば5日後に届きます」と通知します。しかし、アマンダは今週中に論文を書き上げなければなりません。Rapidoで必要な本の該当する章だけをリクエストすれば、24時間以内に本の章を受け取ることができることに気付きます。

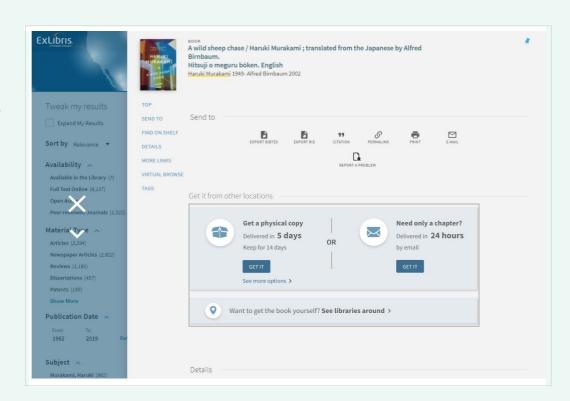
論文の締め切りが迫っているため、早速、章のリクエストを出して、翌日にリクエストした章をPDFで受け取り、 期限内に論文を完成させることができました。



これらのシステムが連携することで、利用者はどこからでもコンテンツにアクセスできるようなります。これは、 アマゾンライクな体験で、利用者は自分に最適な入手オプションを選択することができます。また、利用者がリクエストを出す際に入手方法が明確に示されているため、リクエストがをせずに断念する可能性が低くなっています。

#### Rapido

図書館の利用者は リソース共有を通じ てリソースを入手す るためのオプション を確認でき、分かり やすく新しい体験を 提供します







# コレクションマネージャー、 エレンの場合

図書館の利用者に最も費用対効果の高い方法でサービスを提供するために資料を購入する必要があります

Rapidoは 5回以上借し出しのあった資料を エレンに通知します。

>

#### Rapido

将来的には貸出回数上位のタイトルを自動的に 購入したいと考えています。Rialtoでセレクシ > ヨンプランを作成(設定)し、Rapidoで貸出需 要の高いタイトルを購入します。

Rapido Alma Rialto

これらのタイトルがよく利用されていることがわかっているので、Rialtoを検索して購入します。



#### Rialto

Rialtoで購入したタイトルは、図書館の蔵書の一部となり、利用できるようになりました。

Alma Primo

### コレクションマネージャー

ProQuestとEx Librisのエコシステムが、仮想の図書館コレクションマネージャーであるエレンにどのような利益をもたらすかを説明します。エレンはその役割の一環として、購入するリソースが利用者のニーズに合っているか、また図書館の予算を最も費用対効果の高い方法で管理できるかを確認したいと考えています。

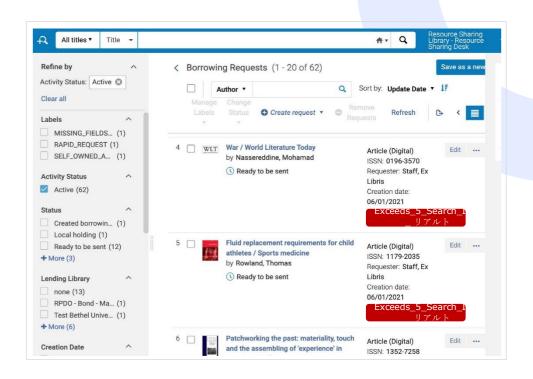
先に説明したように、利用者は図書館が所蔵していないタイトルはRapidoを通じて借りることができます。 Rapidoで一定回数リクエストされたタイトルはエレンに自動通知され、購入を推奨します。エレンはRialtoでそのタイトルを検索し、購入の選択肢を検討し、利用者のニーズを満たす正しい決定を下すことができます。

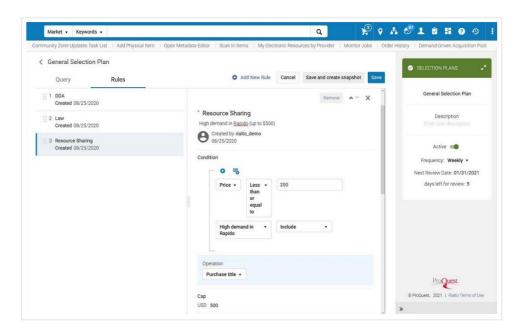
図書館がAlmaのリソース共有機能を利用している場合、エレンはAlmaの分析を通じて需要の高いタイトルについても知ることができ、そのタイトルを購入するかを選択することができます。

タイトルごとに手動で購入を決定するのではなく、Rialto の強力な機能を活用して、需要の高いタイトルをより効率的に購入する方法も考えられます。そこで、Rialtoでセレクションプランを作成し、Rapidoで一定回数リクエストされたタイトルを自動的に購入するようにします。

Rialto内でセレクションプランを作成しています。また、Alma内のリソース共有機能を利用している図書館の場合、Almaの分析に基づいて同じことを行うことができます。





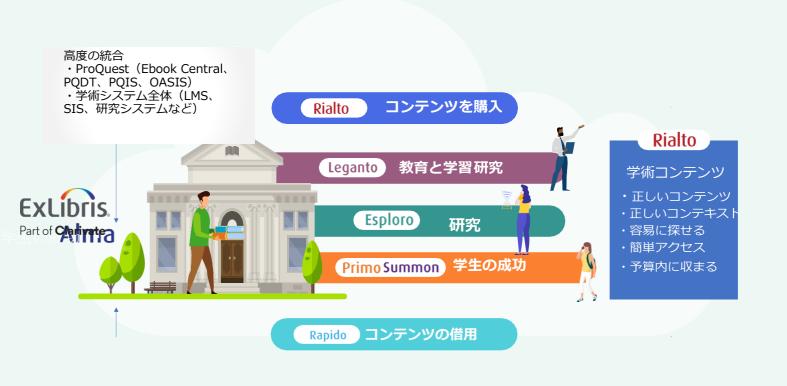


これらのシステムが連携することで効率的なワークフローが実現し、エレンはより多くの情報に基づいた購入決定を行うことができるようになりました。例えば、エレンは自分の所属する研究者の著作物を図書館のコレクションに加えたいと考えています。そのために、AlmaとEx Librisの研究管理プラットフォームのEsploroの情報を相互参照します。Esploroで自分の所属する研究者が執筆・作成したコンテンツを探し、Almaの情報と照らし合わせて、どの制作物が実際に図書館で所有されているかを確認します。

次に研究者が出版した書籍で図書館が所有していない本のリストを作成します。そして、Rialtoにアクセスをして それらの書籍を購入し、Almaを介して利用者はこれらの書籍を閲覧することができるようになります。



## 迅速に適応するためのツール



図書館運営の環境が進化し続ける中、図書館員は状況の変化に迅速に適応し、利用者のニーズをより効果的に満たし、より良い支出決定を行い、最終的に利用者により多くの価値を提供するためのツールが必要になるでしょう。

適切なデジタルプラットフォームは、イノベーションを加速させ、将来的な課題に対しても、図書館を一歩先に進めることができます。ProQuestとEx Librisのクラウドベースソリューションがどのように役立つかについての詳細は、https://exlibrisgroup.comをご覧ください。

この資料についてのお問い合せは下記までご連絡下さい。 クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社

Email: marketing.jp@clarivate.com